

平成27年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。	今年度の重点目標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性の育成 3 自己実現のための進路指導の充実 4 地域との連携による学校づくり
-------------------	--	----------	--

評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	中間評価	評価に対するコメント	最終評価
1 確かな学力の育成	『学び』創造委員会では育成したい学力の目標を「主体的に学び、考え、表現する力」とし、ブレテーマ学習・テーマ学習の実践とともに授業改革に取り組んでいる。今後、目標実現のため更なる取組の推進が必要である。	学力の向上	組織的、計画的に授業改革を推進する	授業評価アンケートや授業公開週間での授業研究の推進 定例教科会と学習委員会での内容検討を充実	B	各方策とも概ね計画どおりに進んでいる。授業研究は「学びの文化祭」を開催することになり、その成果が期待される。学習委員会での学力向上策の検討はまだ十分とは言えない。	
			実習や活動を通して系列の充実を図り、資格取得を推進し、前年超の取得者を目指す	保育・介護施設実習、野外(体育)実習の実施 合格者増のためのきめ細かい受験指導 英語での多読指導の充実	B	実習については計画どおり実施中である。資格取得ではビジネス文書実務検定3級、情報処理検定で合格率が大幅に向上した。多読指導も計画どおり蔵書を増やし、取り組みも充実させている。	
		思考力、判断力、表現力の向上	課題解決能力育成のためテーマ学習とブレテーマ学習の充実を図る	有識者講演会、社会人講話の実施 受験も視野に入れたプレゼンテーション力の育成 学習成果発表会の開催	A	テーマ学習の最終発表会はプレゼンテーション能力だけでなく、自ら考える力や、社会性も身につけ、高い評価を得ることができた。学習成果発表会に向けて、各学年が準備に取り組んでいる。	
			探究的学習の拡大を図り、小論文指導を充実させる	『学び』創造委員会による実践公開の活性化 ジグソー理論を含む学習理論研修への参加促進 外部講師による研修会と校内研修会の実施	B	3年連続学習理論研修への派遣、東京大学本郷学習科学セミナーへも2年連続派遣、さらに学びの文化祭in Yonagoを初開催し、アクティブラーニングの積極的導入に取り組んでいるが、委員会はあまり開催できていない。小論文指導の研修は外部講師を招き充実した内容で実施できた。	
2 豊かな人間性の育成	遅刻者数、服装等の違反者数は確実に減少傾向にあり、今後も継続した指導が必要である。また、生徒会活動、部活動、環境教育、国際理解教育などへの参加は、主体性のある人間性の育成に向け今後益々重要になってきている。	規律指導の定着	遅刻者数の更なる削減(3割減)を図るとともに、正しい着こなしや挨拶を定着させる	朝の校門指導の実践と挨拶習慣の定着 多遅刻者への事後指導の徹底 服装指導と着こなしセミナーの実施	A	朝の校門指導や着こなしセミナーは予定どおり実施したが、制服の着こなしや挨拶習慣の定着はまだ十分とは言えない。遅刻者数については全職員の指導のもと、昨年度比33%減となった。特に1年生の多遅刻が減少した。	
		生徒会活動と部活動の活性化	生徒会主催行事満足度80%以上、部活加入率80%以上を維持する	執行部会の実動と学校祭等への主体的取組の促進 1年生への部活加入調査の実施、見学日程の周知、工夫を凝らした部紹介と一斉部登録の実施	A	執行部は学校祭での後夜祭の企画など、各場面においても積極的に取り組み活動している。現時点においては学校行事満足度80%以上、部活加入率80%以上の目標も維持している。	
		国際理解教育と環境教育の充実 支援が必要な生徒への援助	国際交流を促進、環境への関心を高める	アメリカSTA高校への研修派遣 TEAS活動の推進、環境講演会の実施	B	TEAS活動は着実に遂行されている。アメリカ派遣は計画どおりの実施に向けて、準備が進んでいる。	
			生徒情報を共有し適切に生徒をサポートする	情報交換会・いじめ対策委員会の定期的な開催 特別支援委員会の適時開催と適切な対応	B	会の定期的な開催に加えて、状況に応じて各委員会を随時開催している。	
3 自己実現のための進路指導の充実	テーマ学習の成果としてチャレンジする姿勢が醸成されており、生徒の可能性をより広げる指導力が求められる。	キャリア教育の推進と進路希望の実現	産社へテーマ学習を通じ探究心を育て就職希望全員内定と国公立大等への進学実績を高める	社会人講話、学校・事業所見学、進路講演会の実施 ブレテーマ学習での研究スキルの指導 テーマ学習での社会人基礎力の養成	A	産社からブレテーマ学習、テーマ学習と段階を踏んだキャリア教育が体系化でき、特に市の中心市街地活性化アイディアの取り組みは高い評価を得た。その中で、国公立、難関大希望者も増え、その進路実現に向けて現在指導に取り組んでいる。	
		進路指導の充実	教員の指導力を向上させ適切な科目選択指導、進路情報の収集と発信に取組み、チャレンジする姿勢を育てる	先進校視察の実施 進路だよりの刊行 校外模試の実施と受験の促進 進路情報交換会の開催と活用	B	見立てをした上での視察によって得た情報は生徒の進路指導に即役立てておくことができる。情報交換会も年々情報の浸透が進み、2年次の模試の受験者も増加した。教員の指導力の裾野が広がっている。	
		地域貢献と近隣施設との連携	地域の美化に貢献し、文化部活動を地域とつなげる	コスモスロード、通学路清掃の実施 ハイホットダンスフェスティバルの開催(ダンス) 成実公民館祭、尚徳地区生き生きフェスタ等への参加	B	6月のPTA主催の通学路整備は生徒会や部活の有志によるたくさんの生徒の参加があった。その他の行事の参加についてはこれから計画どおり実施できるよう準備中である。	
			情報発信と社会参画	教育活動を発信し、文化活動や芸術教育を地域に発信する 総合美術展の開催 パフォーミングアーツ(演劇・ダンス)の開催	B	ホームページの担当が変わったが、遅れが outcome に、更新業務に取り組んでいる。法改正に伴って早々に主催者教育講演会を実施した。米米プロジェクトは高い評価を得て、地域への発信ができた。その他の事業については今後の実施に向けて準備中である。	

評価基準 A: 目的・目標を達成した B: ほぼ計画(予定)どおり推進している C: 取り組みとしてはやや遅れている(取組は進めたが、成果が出ていない) D: 一層の(新たな)取組が必要